



お遍路さんと地域の橋渡し・1000年続く遍路文化を目指して

遍路とおもてなし通信

平成20年10月15日

第2号

人々に和やかな心が生まれる

NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク

副理事長 松本 東 (株東和社長)

四国八十八ヶ寺の巡拝、それはすばらしい文化でありますと同時に、その文化は人々の心に深く根付き、広がっているものと思います。この文化を愛しておられる人々が、和やかな心の実りを求めて巡拝に出かけられます。

「NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク」の設立以来、四国の各県で巡拝の人々のお手伝いを続けられ、その活動を着々と実らせておられます皆様へ感謝を申し上げます。

八十八ヶ寺の参拝は、人々がそれぞれの想いをお持ちになって巡拝をなされます。そうして和やかな心をお作りになり、この文化に満足なされますことでしょう。その土地でまた新たな想いを胸に、次の巡拝へ向かわれます方もいらっしゃるでしょう。

私も妻が健康であった時期には、何度か巡拝をさせていただき大変お世話になりました。最初の頃は、道中の道案内に大変助けられました。温かいお茶と一緒に心の和やかさもいただき、お接待の心を学びました。

道すがら、若い人からも「こんにちは。お疲れではないですか？もう少しですよ。」と声をかけられることもあります。道中の体験があればこそこの優しさが生まれるのでしょう。また、自分より年配の人から「よくお参りになりました。」といったわりの声をかけていただき、おかげでもうひと頑張りができたこともあります。

また四国八十八ヶ寺巡拝には、もう一つ、四国の文化との出会いという喜びがあります。その地の文化(祭り、お盆の行事、村の風習、文化財など)に接することは大いに楽しみであります。阿波の国、土佐の国、伊予の国、讃岐の国と、たくさん文化に出会うことができます。そのことも合わせて、巡拝の折には楽しんでいただきたいと思います。



このように、四国八十八ヶ寺の巡拝は、出会いを、そして和やかな温かい心を得たいとすることが出来るすばらしい文化だと考えております。今後も「NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク」がますます実り多きものになりますよう、皆様とご一緒に活動いたしたいと思っております。

海を渡ったお遍路さん スペイン巡礼 報告



スペインの「サンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼の道」は1993年、世界遺産になった。

四国遍路道も巡礼の道として世界遺産登録を目指し、松岡事務局長を筆頭に、有志たちが査察と交流を兼ねて毎年歩いている。今年で3回目、約800キロの行程も後半にさしかかった。

今回は道案内シールの英語版も作成、若い巡礼者や町のバー(居酒屋)などに配り、四国遍路をPR。大変興味を持ってくださり、中には四国遍路にもぜひ行きたいと言ってくれる人も。

この巡礼宿は「アルベルゲ」といい、大部屋に二段ベッドを並べた簡単なもの。大きい宿ではベッドを15〜20台並べ、60〜80人も宿泊できる。宿泊費は極めて安く、善意によるがおよそ千円程度。四国の遍路宿は親切なところも多いが、決して安くはない。ここに来る度アルベルゲのようなシステムが四国にも必要と感じる。

出発して8日目、モリナセカ(Molina Seca)人口930人という町に着く。今回の最大の目的がここ。この町の町長と会談するためである。町長は巡礼に非常に関心をお持ちで、日本の同じような巡礼の道沿いの町と提携し、町どおしで交流していきたい、とスムーズに話が進んだ。この町は行程のちょうど4分の3あたりに位置するので、四国の、同位置にある愛媛県愛南町を紹介させていただいた。本当に、素朴で穏やかな美しい町だった。この町だけでなく、町どおしで交流できれば、お互いのアンテナショップとして宣伝ができるのではないだろうか。毎年10万人が訪れるコンポステーラ。その1割が四国に来るだけでも大きな効果である。

他に、自転車車を積み込み、部分的に自転車車で巡礼するツアーリングや、バスで荷物を運び、軽装で歩いているツアー団体をよく見かけた。これも面白い。

今回はスペイン語も話せる仲間が加わり大いに助かった。言葉の交流も大変素晴らしいが、言葉を抜きにした巡礼が可能なシステムも同じく必要と強く感じた。



英語版道案内シールと店主



アルベルゲ



モリナセカ町長(右)にホタテの(巡礼の象徴)プレートをいただきましたので、愛南町へお届けします。

NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク事務局

〒761-0104高松市高松町2306番地3 TEL087-843-4445 FAX087-843-4450

http://www.omotenashi88.net info@omotenashi88.sakura.ne.jp

松岡事務局長のあんな動き・こんな交流!?

事務局活動報告

おもてなしのネットワーク拡大中!!
～現在の主な動き～

「石柱」設置!

- 国際ロータリークラブ第2670地区から徳島県内石柱21本分のご寄付をいただき、うち5本が設置完了いたしました!引き続き、11月に3本設置予定です。
- 香川県でも四国経済産業局幹部5名より1本、高松中央ライオンズクラブ2本、飯田お遍路休憩所:河野耕作様3本、中曽根弘文外務大臣2本、JR四国幹部4名より1本ご寄付をいただき石柱が完成、合計21本となりました!他にも2本ご寄付のお申し出があり、場所等決まり次第設置となります。



四国経済産業局にご寄付いただいた石柱

実のなる木植樹!

- 4月、徳島県阿南市、国道55号沿いの「ヘンロ小屋鉦打」に「実のなる木」を植樹しました。桑原副理事長と松岡事務局長の会談が徳島新聞に載り(2/3付)、その記事を読んだ徳島の主婦の方が、苗木の寄付を申し出て下さいました。阿南中央ロータリークラブが植樹を行いキンカン・夏ミカン・八朔・さくらんぼが植えられました!
- 高知県安芸市の「安芸商工会議所女性会」の皆様が当NPOに賛同して下さり、ピワヤイチジク、スモモなど、計26本の実のなる木を安芸市内遍路道周辺6ヶ所に植樹いたしました。



阿南市遍路小屋で植樹後、お遍路さんが来訪

遍路大使1万人達成!!

- 当NPOでは、2004年4月よりロータリークラブなどにご協力いただき、歩き遍路の結願者に「遍路大使」を任命してまいりました。4年目の6月24日、1万人突破!!記念授与式を行いました。見事1万人目となられたのは、静岡県からこられた元警察官。国際ロータリークラブ2007-2008年度ガバナー稲山氏、梅原理事長により、1万人目の「遍路大使」任命書とバッジを贈呈いたしました。



一万目のお遍路さんと梅原理事長、稲山ガバナー

親子お遍路ウォーキング開催&参加者募集!

- 第一回:10月26日(日) 66番雲辺寺~70番本山寺
- 第二回:1月末ごろ(予定) 70番本山寺~76番金蔵寺
- 第三回:3月末ごろ(予定) 76番金蔵寺~80番国分寺



前年度の親子ウォーキング

より詳しい情報・最新情報は、 <http://www.omotenashi88.net> をご覧ください!

入会・活動参加のご案内

四国が好き、お遍路に興味がある、お接待の心を残したい、また、お遍路をした・お遍路をしてみたい、と思ったださる方、ご理解を頂きご入会を賜りますよう心からお願いいたします。

どうか、ご家族やご友人、お知り合いの方々にもお声をかけていただければ幸いです。みなさまの温かいご支援をお願い致します。まずは事務局(HP・メール・TEL・FAX)までご連絡ください。入会案内をお送りいたします。

<年会費と振込先>

郵便振込にてお振込みください。

- ◆口座記号: 01670-0 ◆口座番号: 92610
- ◆加入者名: 遍路とおもてなしのネットワーク

- ◆一般会員: 3,000円
- ◆法人会員: 10,000円
- ◆特別法人会員: 50,000円



遍路大使・おもてなし大使

歩き遍路で結願した方、おもてなしに尽力された方を任命しています。

遍路大使 10,622人
おもてなし大使 485人
H16.4.~H20.10.15現在



「英語版道案内シール」できました!



スペイン巡礼のご報告でも紹介しましたが、英語版道案内シールができました!! 外国からの巡礼者も毎年増加しており、日本語が分からないまま歩いている人も。そんな巡礼者が迷わないように、また、世界中に四国遍路がPRできるようにこのシールを作成いたしました。

The Shikoku Henroが世界共通語になる日が来るかも!?
(四国遍路)

NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク事務局

〒761-0104高松市高松町2306番地3 TEL087-843-4445 FAX087-843-4450
<http://www.omotenashi88.net> info@omotenashi88.sakura.ne.jp